

第 63 回 北海道医療ソーシャルワーク学会

大会テーマ

「 多様化する地域社会におけるソーシャルワーク実践 」

国は、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えてつながることを目指し、地域共生社会の実現に向けて様々な取り組みを進めている。我々医療ソーシャルワーカーに対しても、ここ十年の間で、診療報酬制度、就労・就学支援、在宅医療介護連携推進事業、地域包括ケアシステムへの参画など期待が高まっているとともに、ソーシャルワーク実践の位置づけも進んできている。しかしながら、日々の実践の中で地域に目を向けると、ひと昔前の「支えあい」「絆」が薄まり、社会的孤立が生まれ、その結果、社会的な抑圧を受けた方が存在している。「虐待」「依存症」「身寄りがない」など、様々な支援課題を抱えたまま医療に繋がる方も少なくない。

このような地域社会の中で、我々医療ソーシャルワーカーは、保健医療分野における相談支援の専門職として、入退院支援を中心に、地域の多職種連携の中核となり、日々実践を行っており、地域の連携推進活動にも参画をしている。しかしながら、その実践は十分とは言えず、所属機関や地域の関係職種、地域住民らとともに、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに更に目を向けるべきではないのか。そして、「ソーシャルインクルージョン」に向けた自らの実践を確認し、今後の果たすべき役割を今一度考える時期がきているのではないか。

本学会のテーマを「多様化する地域社会におけるソーシャルワーク実践」とした。多様化する地域社会をソーシャルワークの視点で見て、我々に何ができるのか、考える契機となる学会としたい。

主 催 北海道医療ソーシャルワーカー協会
開催主管 北海道医療ソーシャルワーカー協会中央A支部
日 程 2020年6月20日(土)・21日(日)
会 場 札幌ビューホテル大通公園(〒060-0042 札幌市中央区大通西 8 丁目)

【第1日目】 6月20日(土)

10:00～ 11:30	11:40～ 12:30	13:00～ 14:00	14:30～ 15:00	15:00～ 16:45	17:00～ 18:30	18:30～ 19:00	19:00～ 20:30
ミニ レクチャー	ランチョン セミナー	総会	開会式	基調講演	招待講演	ドリンク セミナー	懇親会

【第2日目】 6月21日(日)

9:00～ 10:50	11:00～ 12:00	12:00～ ～12:20
演題発表	特別講演	閉会式

基調講演

講師 藤田 孝典 氏 ほっとプラス代表理事、社会福祉士/聖学院大学客員准教授

『ひとりも殺させない - それでも生活保護を否定しますか-』(2013 年)

『下流老人 - 一億総老後崩壊の衝撃』(朝日新聞 2015 年)

『続・下流老人 - 一億総疲弊社会の到来』(2016 年) など

座長: 巻 康弘氏(北海道医療大学准教授)

特別講演

<<講師調整中>>

招待講演

「北海道におけるソーシャルワーク実践で必要なこと」

座 長: 岡村 紀宏(西岡病院、事務局長)、鼎談参加: 木川 幸一(北海道がんセンター、会長)

－身寄りのいない事例についての先駆的な取り組み 愛知県医療ソーシャルワーカー協会

－実践評価における先駆的な取り組み 静岡県医療ソーシャルワーカー協会

ミニレクチャー

1. 「ひとりでも始めてみよう! ～ラダーの使用について～」

オーガナイザー: 松原 俊輔 (リラコート愛全、研修部長)

2019 年度に会員の皆さまへ配布された「医療ソーシャルワーカー キャリアラダー・ハンドブック」、使っていますか。

「ラダーのセルフチェックを行う」、「研修の選定・自己研鑽など年度計画を作成する」、そして「評価」までできるよう、使い方を一緒に学んでいきましょう!

2. 「医療的ケア児の諸課題～ソーシャルワークの視点から」

オーガナイザー: 佐々木 幸(JCHO 北海道病院)

周産期医療の発展に伴い、人工呼吸器や胃ろうなど医療処置が必要なお子さんが増えています。命が助かって嬉しいけれど、自宅生活で全てを両親・家族で担う事も大変です。しかし、両親に代わってケアをしてくれる体制も少なく、短期入所先を探すのも苦慮している方々も少なくありません。

今どんな課題があって、現場ではどんな事に悩み、取り組んでいるのか? 是非、その声を聴いて下さい!

3. 「“かわる”“わかる”社会福祉士 新カリキュラム」

オーガナイザー: 横田 法律(西岡病院)

2019 年 6 月に厚生労働省より「社会福祉士養成過程の教育内容等の見直しについて」が公表された。当協会でも養成校団体と連携し「人材養成」について取り組んでいる。

現任者である私たちが新カリキュラムについて正しく理解し、「人材養成」について考える場とします。

4. 「就労支援の実際」(がん、高次脳障害の2 枠を想定)

オーガナイザー: 岡崎 史典(札幌市南区第1地域包括支援センター)

オーガナイザー: 保科 里香(札幌南整形外科病院)

みなさんは日常業務の中で、クライアントの就労支援に携わる機会はあるでしょうか？ 実際のところあまり関わりがないという方も多いことと思います。私たちが、就労支援に携わる時は「治療」と「就労」の両立を支える支援になりますので、雇用者・医療者などの支援者の共通理解や連携が必要になります。今回は、医療機関のソーシャルワーカーが行なっている就労支援について、実際どのように関わりが始まるのか、大切にしている視点や課題などをレクチャーしていただきます！この機会にぜひ一緒に学んでみませんか？皆様の参加をお待ちしています。

5. 「老健・介護医療院の現状」

オーガナイザー: 荒木 耕一郎(JCHO 北海道病院付属老健)

超強化型へ変貌を遂げる老健と、介護療養型老健から転換が進む介護医療院。

医療と福祉の機能を併せ持つ2つの介護保険施設の最新動向をお伝えします。第一線で働く老健・介護医療院のソーシャルワーカーが、医療機関の入退院支援におけるコツと具体的アクションを徹底解説します。

ワークショップ

「外来におけるソーシャルワーク支援」オーガナイザー: 高橋 奏絵 (札幌しらかば台病院、中央A支部長)

皆さんは、日々の業務で、外来患者支援に視点が行き届いているでしょうか。

通院→入院→退院→通院、という一連の支援を実践するための方策を、ワークショップ形式を用いて柔軟・斬新な意見を出し合い、考える場となればと思います。興味がある方、一緒に企画していきませんか？！高橋に気軽にご連絡ください。

連絡先 : 札幌しらかば台病院 医療ソーシャルワーカー 高橋 奏絵

電話番号: 011-852-8864(直通)

締切 : 2020年1月10日(金)まで

ランチオンセミナー

協賛: 帝人ファーマ

「ICTを用いた在宅医療における多職種連携」

講師: 三木 敏嗣 先生(みきファミリークリニック 院長)

座長: 岡村 紀宏 氏(西岡病院)